

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(H28~H29年度:計画作成主体:花巻市農業推進協議会)(岩手県)

取組の概要

対象品目 : 施設野菜(ピーマン、ミニトマト、リーフレタス、きゅうり、トマト)
(産地面積5ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人5法人、農業者5名
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 基準(H27年度)1,612千円/10a
 目標(R2年度)2,861千円/10a
 導入施設等 : 整備事業(低コスト耐候性ハウス2棟、ヒートポンプ3台)
 生産支援事業(パイプハウス5棟、暖房機1台、養液栽培システム一式、細霧加温システム一式)

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

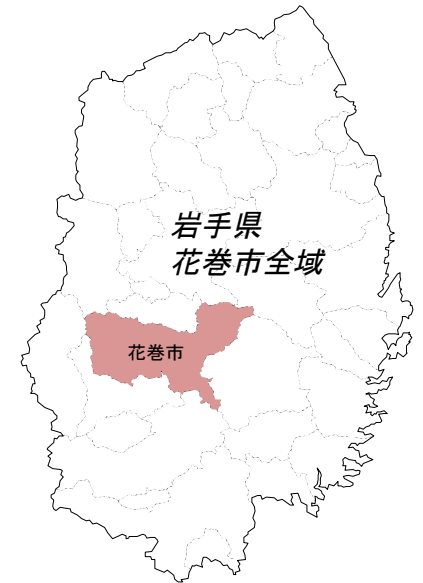
土地利用型作物が主体となっている中、土地利用型作物から収益の高い作物への転換に意欲的な担い手がいることから、施設野菜の栽培に取り組み販売額の増加を目指す。



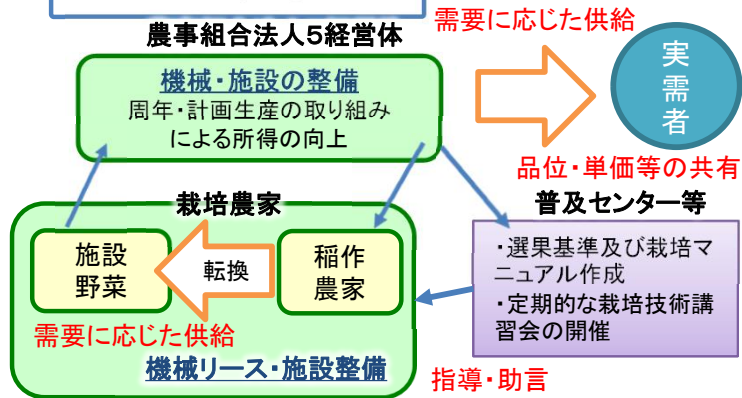
【産地の体質強化に向けた方策】

担い手が「施設野菜」の作付けに転換するために必要な機械等のリースやハウス、ヒートポンプ、細霧加温システムの導入支援

地区の概要



産地体制



取組成果

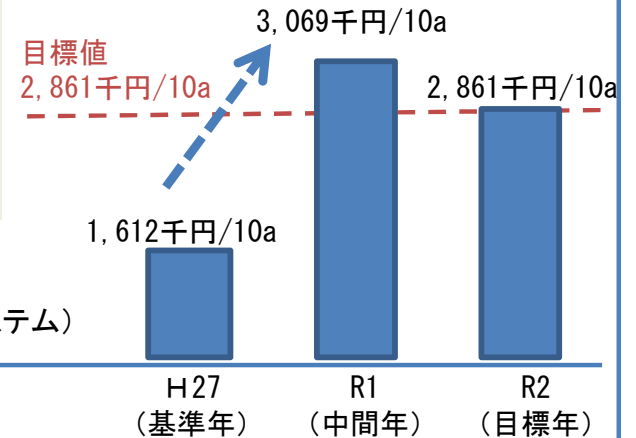
【事業実施による直接効果】

- ①土地利用型作物から施設園芸作物への作付転換の取り組み
- ②低コスト耐候性ハウス、ヒートポンプ設備の整備による周年・計画生産の取り組み
- ③各品目で栽培技術の向上に努め、9月の出荷量拡大に向けた取り組み

【事業実施による間接効果】

担い手による作付面積が拡大し、生産量が増加

販売額が90%増加
(達成率116.6%)



(細霧加温システム)

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・選果基準及び栽培マニュアル作成
- ・定期的な栽培技術講習会の開催
- ・市単独事業により、園芸作物の資材や種苗代を助成